

事業計画書

| | |
|----------------|---|
| 団体名 | 島本音楽フェスティバル実行委員会 |
| 選択テーマ | テーマ② にぎわい創造促進事業 |
| 実施予定事業名 | 第10回島本音楽フェスティバル |
| 本事業における補助金交付回数 | 2回 |
| 事業の目的 | <p>(1) 10回目を迎える島本音楽フェスティバル 島本音楽フェスティバル(以下「しまフェス」という。)は、音楽をテーマとしたステージを町有地で実施し、町中の皆さんでショーを楽しめるチケットフリーのイベントです。今回も例年通り4会場での実施を予定しており、JR島本駅前の歴史資料館内、桜井駅跡史跡公園と、阪急水無瀬駅前の島本町立第一中学校グラウンド、同体育館内での同日開催をします。音楽ステージには町内で活動しているバンドの皆さんや地元の管楽団のみなさんのみならず中学や高校の吹奏楽部など幅広い年齢層の皆さんに演奏をしていただきます。体育館では、こちらも島本町内で活動されるダンス団体の皆さんにパフォーマンスを披露していただいております。小さいお子さんや学生の皆さん、そしてご来場いただく親御さんやご高齢者の方々にも楽しんでもらえるイベントとして今期で第10回目を迎える運びとなりました。</p> <p>(2) あたらしい実行委員会 今回から実行委員会に島本町商工会青年部以外のメンバーも募り、音楽家やダンサー、更には学生の招致も図っています。学生や地域団体との交流によって技術のクオリティを互いに高め合い、イベントの演目に付加価値を持たせることにも取り組んでいます。昨今の、部活動の地域移行が施行されていく中、実行委員会メンバーとの交流の場を積極的に設けて音楽やダンス技術の向上と、レベルの高い芸術文化を学習できる部活動を実施することを目標にしています。こうした取り組みがイベントや演目の質を高め、若い人たちの人材育成を形成し将来的に持続可能な運営に繋がります。</p> |
| 事業の対象者 | <p>(1) イベント出演 【町内】 公立中学校吹奏楽部・同ダンス部、私立中学校高等学校吹奏楽部・同ダンス部、民間運営ダンス団体、町内アマチュアミュージシャン フリーマーケット参加者、体験ワークショップ運営者</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>【町外】 近隣市町村高等学校、ダンス団体、アマチュアミュージシャン</p> <p>(2)イベント参加者 町民及び町外からの観光客 町民においては広報誌や広報掲示板、学校配布プリントにて広報を実施する。町外においては近隣で開催する音楽イベントと連携し、集客を計る。</p> |
| <p>事業の内容 (いつ、だれが、どこで、何をするのか具体的に記載して下さい。)</p> | <p>(1)「みんなで宝島」 宝島の原曲は、T-SQUARE(ティー・スクエア)というバンドの和泉宏隆さんによって作曲された曲です。その曲を真島俊夫さんが吹奏楽団向けに編曲されたことによって、沢山の楽団によって演奏されることになり、現在では「吹奏楽の定番曲!」という大変人気の高い曲となりました。その「吹奏楽部のみんなが大好き宝島!」を当日ステージに集まった沢山の来客者や吹奏楽部のみんなで演奏してみよう!という趣旨の企画です。音楽が好きだ!という気持ちを、集ったみんなでコミュニケーションすることによって、沢山のメロディとハーモニーをみんなで体感してみよう!という企画です。1つの曲を通じて、吹奏楽部の子どもたちやご来場者みなさんの音楽へのおもいをステージや客席が一体となって共有します。</p> <p>(2)「みんな踊ろう!」 本フェスティバルのエンディング企画として「みんな踊ろう!」を企画している。出演して頂いた全ダンス団体が出演したバンドの音に合わせて踊る企画である。町内では複数のダンス団体が活動しているが、横断的な交流による企画は今まで実施していなかった。島本町の団体においても出演イベントでは顔を合わす程度であり、交流は限定的であった。当企画では共通曲を提示し、ダンス団体に通う皆さんに振付をして頂く。当日には全員が参加し、翌年も本フェスティバルを実施できるよう盛り上げ、熱を持って本フェスティバルのエンディングを迎えよう。と企画している。</p> <p>(3)「ステージ演出」 前述の通り、多くの高校生、中学生の団体による参加を予定している。各団体には事前にステージ配置図を配布し、ステージを利用し自らの出演時間をどのように演出する事が出来るか思案する時間と機会を提供している。それは平面的に与えられたステージでのパフォーマンスではなく、会場全体を巻き込む演出やフォーメーション等における工夫を施す事が出来る余地を与え、表現の幅を広げようとする目的である。</p> |

| | |
|-----------------|--|
| | <p>(4) 子供達が楽しむ事ができるフェスティバル 「しまフェス」は音楽だけではなく、子どもたちが楽しみ会場に滞留する仕掛けとして町内で活動する非営利団体を中心に協力をお願いし、島本名産の竹を利用した水鉄砲等の遊戯といった体験ブースや子どもたちを対象とした楽器体験コーナーやダンスワークショップを設置し、普段触れない島本町の文化の紹介や人材育成のきっかけづくりを行なっている。</p> |
| <p>周知（募集）方法</p> | <p>(1) 町内広報 社会人・高齢者層に向け町営掲示板をはじめとして町広報誌への掲載を行い、本フェスティバル冊子を全住戸に配布し開催の周知を図る。また小学校、中学校の全クラスには広報プリントをHRで配布し、本フェスティバルが多くの人に知られ参加する事に価値を得られるよう広報を行う。また、島本町の幼稚園やダンスの授業や運動会で使用されている楽曲「島本スマイル」という主管団体で作成した既存コンテンツを利用し、本フェスティバル内においてみんなで踊る事で本フェスティバルに参加した事がないファミリー層からのアクセシビリティを確保する。</p> <p>(2) 町外発信 SNSでの発信を主として、今回の新しい取組として近隣自治体で開催されている音楽イベントで広報協力を実施する。隣接の高槻市で開催された「たかつきスクールジャズコンテスト」では島本音楽フェスティバル賞を作って頂き町外への発信を行っている。本フェスティバルだけではなく、そもそも島本町を知らない人々に対する呼びかけとなり、本フェスティバルを通じて島本町を知ってもらえる機会とする。また、受賞した学校へは本フェスティバルへの出場を打診し、出場校のコミュニティにも周知を図っている。</p> <p>(3) Podcast 配信 これまでの実行委員会の企画会議は実行委員が集まり企画を可決し、実行する。という手順を踏んでいた。しかし、今回の新しい試みとして、会議毎に情報公開が可能な企画内容について30分程度の番組に収録し、Podcastにて配信を行う。途中段階をオープンにし更新する事で本フェスティバル開催までの時間を楽しんでもらえると共に開催日が近づくにつれてワクワクする感情を高める試みを実施する。</p> |
| <p>実施場所</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 島本町立第一中学校グラウンド会場(吹奏楽団) 2. 島本町立第一中学校体育館会場(ダンス団体) 3. 島本町立文化歴史資料館内会場(クラシック、弾き語り、合唱) 4. 史跡桜井駅跡史跡公園会場(バンド) |

| | |
|--|---|
| 実施時期・回数 | (時期) 2023年4月30日(日) 9:45~16:00 (回数) |
| 参加予定者数 | 8,000人 (※複数回実施の場合: 1回当たり平均 人) |
| <p>事業の効果 (特に補助金で実施する内容をアピールして下さい。)</p> | <p>(1) 島本町の魅力を PR 「しまフェス」は、最寄りの公共機関近郊に会場を設営することにより、町外からご来場の方々にも島本町の魅力を知って頂く機会をつくっています。歴史文化資料館には安土桃山時代から所縁のある「水無瀬駒」、桜井駅跡史跡公園には、古典文学「太平記」に記されている名将楠木正成・正行父子の逸話を語る石像など、歴史的な魅力を体感していただくとともに町内外の皆さんに1日楽しめる音楽イベントを運営しています。イベント会場には、地元の模擬店や手作り雑貨店も誘致し商店のPRやスタートアップを目指す作家さんたちの交流の場としても機能させています。</p> <p>(2) 音楽振興を通じたにぎわいの創出 しまフェス会場の一つである島本町立第一中学校の吹奏楽部を中心に、町内の私学校である大阪青凌中学・高校の吹奏楽部の皆さん、隣町の芥川高校の学生の皆さんにメインステージでのパフォーマンスを計画しています。数年間、イベントが制限されてきた子どもたちを対象に、自由に表現する場所を設け部活動へのモチベーションに繋がります。前回は、学校部活動との新しい試みとして、「芥川高等学校和太鼓部」の皆さんと特別企画演目として、阿波おどり連「京都なにがし連」によるコラボ演目を実施いたしました。残念ながら第9回は雨天中止によってステージによるお披露目には至りませんでした。アーカイブ動画を芥川高校和太鼓部さんの部室にて撮影させて頂きました。 https://www.youtube.com/watch?v=ui6FUcdPpho (芥川高等学校和太鼓部公式 Youtube チャンネルより抜粋 URL) 伝統文化を継承される演者方にとって互いに刺激し合いとても素敵な動画となりました。これからの未来を担う若いパフォーマーたちがめいっぱい輝けるステージを一緒につくりあげます。</p> <p>(3) 高度な音響環境での出演 「しまフェス」の次世代育成には子ども達がプロと同じ高度な音響環境のステージを提供する方針を立てている。しかし、そのような音響の環境には多くの経費が必要となる。さらに、より良い機材の導入をすれば、それだけ子ども達にとって貴重な経験となる一方で、運営側にとっては支出が増える事となる。補助金を取得する事で、より良い音響環境を子ども達に提供し、子ども達の経験値を増やす事が出来る。</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>(4)楽器の運搬費 本フェスティバルでは中高生の吹奏楽部に出演頂いているが、吹奏楽部の出演には専門業者による楽器の運搬が必要となる。その費用がネックとなり、大会以外において一同に会する機会が得られていないのも事実である。補助金交付により、より多くの運搬費を計上する事が出来るため、学生出演者の数を増やす事が出来る。</p> |
| 今後の展開 | 補助金交付終了後の自立に向けた展望等 |
| | <p>「しまフェス」はコロナ禍による影響もあり島本町民に対するイベントの広報や周知は充分とは言えない。運営スタッフやボランティアスタッフ招致や企業協賛についてもイベントに対する関心や付加価値を高める必要性がまだまだある。さらに過去3回の中止という状況から、まず周知活動を充実させ翌年度に繋げるためのアーカイブを録ることが大きな目標である。そのパフォーマンス素材を元に公益性や認知を広め、町民や事業所にPRしていくことが優先される。</p> |
| | <p>事業の最終目標・到達点等 「しまフェス」の開催を目標にするのではなく、普段の部活動や町内による小中学校イベントにて実行委員会メンバーとの交流を図り、音楽や芸術文化に対する知見や関心を地域住民と一緒に深めていくことが当会の持続可能な将来性とその役割を担えと考える。その積み重ねがイベント開催に向けての意義を成し、島本町の町有資源や人材が活力を生み出すものと期待している。</p> |

※補助対象事業が複数ある場合は、上の表を追加し、事業ごとに状況を記載すること。

※参加予定者数欄には、可能な範囲で参加者の内訳割合を記載すること。また、複数回実施する場合は、総数は延べ人数を記載し、1回当たりの平均人数も記載すること。